

各種審議会等審議結果公表シート

会議の名称	第1回中津川市介護保険運営協議会
開催日時	令和5年6月27日（火） 13時30分～15時20分
開催場所	中津川文化会館 2階 多目的研修室
出席者の役職名	委員：恵那医師会代表・区長会連合会代表・訪問看護事業者代表・老人福祉施設代表・居宅介護支援事業者代表・居宅介護支援事業者代表・老人クラブ連合会代表・被保険者代表・被保険者代表・社会福祉協議会代表・民生委員児童委員協議会連合会代表・介護相談員代表 事務局：市民福祉部長・市民福祉部福祉局長・高齢支援課長・介護保険課長・高齢支援課長補佐・介護保険課長補佐・同係長・同主任主査
傍聴者	なし
話し合われた内容（会議録又は審議概要）	別紙
会議資料	（添付ファイル）
次回開催予定日時	令和 5年11月頃
次回開催予定場所	中津川市健康福祉会館
所管部課	市民福祉部介護保険課

欠席者

- ・東濃地区労働組合協議会代表
- ・ユニオンネット中津川代表
- ・老人保健施設代表

令和5年度 第1回中津川市介護保険運営協議会 会議録

日時:令和5年6月 27(火)日 13時 30 から 15 時 20 分

場所:中津川文化会館 2階 多目的研修室

開会

1.委員交代に伴う後任委員の委嘱

原善治委員へ青山市長より、委嘱状交付

2.あいさつ

青山市長 中津川市は本年度合併から 19 年を迎え、合併当初は人口8万5千人でスタートしたが、この 18 年で1万人減少し、本年の4月1日では7万4千人台。また市長就任時の成人式対象者は 1,200 名ほどいたが、令和4年度は850 人まで減少。新生児は令和4年度 372 名となっており、出生数の大幅な減少は、各地方都市では大変大きな課題となっている。合併してわずか 19 年の間にもずいぶん世の中が変わり、合併以前より高齢化という言葉は出ていたが、高齢化に突入し働く方の減少ということは、人を集める、職員として雇い入れることについても非常に苦労をされていると思う。特に介護の現場は人対人というものが非常に重要であると考えている。

リニア中央新幹線の駅、組み立てのできる車両基地の建設が進んでおり、これからの時代の若い方に向けて一つの大きなアドバンテージをいただいた。生まれた中津川に踏みとどまり、自分たちが活躍するんだ、そうした場面もしっかりと作り上げていかなければならない。計画を進めていただく中で、中津川市のまちづくりという観点もどこかで織り込んでいただければ幸いである。

上田会長 介護保険当初の頃と比べると、今はサービスも行き渡っている、市民への周知も行き渡ってきていると思っていたが、今回の調査結果の自由意見をみると「困った時どういう風にすればいいか教えてほしい」等、基本的な意見がたくさんあった。受け取る側が自分のことではないという思いもあり、大きな課題であると思う。

コロナ感染に関しては、9波を目前としている。福祉連絡協議会を組織し、各事業所の感染者を情報提供するシステムを作っているが、情報提供してくれる機関とそうではない機関もある。各事業所まかせになってしまっていることから、しかるべきマナーの下に各市民の皆様や事業所が対応していく必要がある。

中津川市の人口は2030年あたりが高齢者のピークではないか。これ以降減少していくが、2040年ぐらいまでは、だいたい今の高齢者数が続くだろうと言われている。9期についてはそれらを踏まえ、どのように介護保険運用をしていくかも見越しながら、計画を立てる必要があると思う。

3.諮問 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

青山市長より、上田委員長へ諮問

4.議題

(1)中津川市の高齢者保健福祉・介護保険の現状について

上田会長 それでは、議題(1)に入ります。事務局から説明をお願いします。

事務局 令和5年度高齢者等の状況、高齢者人口の推移、要介護(要支援)認定状況、介護サービス受給者の状況、介護サービス給付費の状況、保険料の納付状況、第8期介護保険料、介護保険関連事業所数、定員等の状況について説明

上田会長 ただ今のご説明に関しまして、ご質問・ご意見がありましたら出していただきたいと思います。

- 時國委員 認定率のところで、75歳団塊の世代が、2025年には75歳以上になるということですが、今年3月、4月、5月ぐらいの新規の申請の方の最新状況を教えていただけるとありがたい。
- 事務局 正確な数字が出せないの、また調べて追ってお知らせします。
今、説明あったように、多いか少ないかという正確な数字は、この場でご説明はできませんが、コロナの関係の12ヶ月更新延長があった関係で、月によって件数のばらつきがあり、新規の方もそれなりに増えてきている感覚は、調査員から聞いている。
- 上田会長 コロナによる申請を控える人がいるのではないかという意見は、介護保険認定審査会でも出ていたので、お知らせをしておきます。

(2) 第8期介護保険事業計画の進捗管理について

- 上田会長 議題(2)に入ります。第8期介護保険事業計画の進捗管理について。事務局から説明をお願いします。
- 事務局 第8期事業計画の策定にあたり、その実現のために、市役所の関係各課及び社会福祉協議会の実施事業として、70の個別事業を計画に位置づけ、年度ごとにその進捗を管理している。主要事業として位置づけられている給付の適正化及び自立支援や介護予防、重度化防止の取組についての中から、よくできているもの、反対に思うようにできていないもの、昨年度と一昨年度で取組の評価に変化のあったものを中心に抜粋して説明。
- 糸魚川委員 66番の事業所の指導監督について少しお伺いしたい。令和4年度の11事業所への実地指導を実施したとあったが、これは具体的にどこか。支障がなければいくつか教えていただきたいのと、ぜひ今後ここには力を入れて指導に入っていただきたいというお願い。実地指導の中で、管轄が違うのかもしれないが、感染対策とか感染予防についての指導等追加されているのかどうかお伺いしたい。
- 事務局 実施した事業所としては、居宅介護支援事業所とグループホーム、通所介護事業所と小規模多機能事業所になります。大体1つ、1種類3か所。小多機だけ1つになります。追加で質問していただいた感染に対する指導については、資料を得ていないので指導は行われていない現状ですが、国・県から事業所に対して指導を行うべきであるという情報提供がありましたら、速やかに指導に入れさせていただきたいと思います。
- 上田会長 この事業所はそうすると、小さな事業所に対しての監査ですか。
- 事務局 中津川市より実地指導に入るところについては、居宅介護支援事業所と地域密着型介護サービスの事業所のみになっております。大規模なところについては県が入ることになっておりますので、よろしくお願いします。
- 上田会長 感染の話ですが、先ほど私が挨拶で言わせてもらいましたが、感染を起こした事業所がある。その事業所を誰が注意勧告するのか。保健所はやらなくてもいいという法律になりました。これを中津川市がちゃんとやってもらうようにしなければと思っているところです。
- 時國委員 施策番号の26の介護予防ケアマネジメントの充実のところですが、通所介護C型を去年か一昨年くらいから始めている。市から委託を受けた事業所が実施している。利用者8名ということで、効果と今後続けていく計画があるのかどうか。非常にいいことだと思います。その辺を教えてください。
- 事務局 昨年度3月末時点でやっと終了した方が2人という状況で、まだ終了者が少ないです。C型という形で予防の通所をさせていただき、その後は介護保険を使わずに、通常の一般的な介護予防教室などにつながっていき、終了した2人はつながりました。今年度もケースは少ないですが実施している中で、デイサービスに行きたいというようなお声はまだありますが、まだ大半の方がまだ終了していないという状況なので、今後効果についてお話ができるのではないかなというふうに考えております。
- 時國委員 今後継続してずっとやっていくということでしょうか。

事務局 C型を継続して行っていく予定です。

上田会長 はい、ありがとうございました。
他にございませんか。番号を忘れちゃったのですが、オーラルフレイルという表現がございましたね。
オーラルフレイル。何番でしたか。

事務局 オーラルフレイルにつきましては、施策番号の8番になります。

上田会長 オーラルフレイルはすごく大事なことで、在宅ケアでも施設ケアでもケアをしていくためには、非常に尊重しなければならない部門です。しかし、あまり参加が良くなかったという話ですね。ケアマネ部会、あと訪問介護、訪問看護とか。そういうところにしっかり広報していただき、もっともっとオーラルフレイルに関する勉強していただくとすごくいいと思います。そして、誤嚥性肺炎の予防、ちゃんとした口腔ケアが栄養確保につながる。私たちが普段忘れて見逃していた分野ですが、しっかりやっていただくことは、在宅医療にとってすごく大切なことだと思います。在宅系の訪問系の事業者だけではなく、特別養護老人ホーム、老健にもこういった教育ができているところとできないところがある。積極的に参加を呼びかけるとすごくいいと思います。
他にご質問かどうか。

鈴木(昭)委員 施策番号35番、緊急通報システムの件です。課題等対策のところに固定電話が減少傾向になっているということで、今後の対応を考えていくとありますが、具体的にどのような対応があるのでしょうか。

事務局 緊急通報システムは、独居の方で心臓に疾患がある方を対象としまして、取り付けをさせていただいております。固定電話の固定回線に接続して、ボタンを押すと消防署の方に直接つながり、救急車を呼ぶことや会話ができるシステムになっております。また、ご発言いただいたとおり、課題として固定電話の回線が徐々に減ってきており、利用者の数も減ってきている状況です。IT機器での見守りににつきましては、一つは携帯電話の普及もあり、上手に使っていたいいる方につきましては、一つの通報手段にもなっている。また、IT機器で見守りができるシステムがいろいろ出てきており、設置している市町村は、使用状況で行動を把握していたり、民間が提供しているもの、広くみれば新聞会社、配食をしている業者が独自のサービスで見守りを展開している。このあたりの普及状況等も見ながら、検討や今後研究を進めていく必要があると思っております。もちろんシステムだけではなく、人的で広域的な、まんべんなく地域で見守りすることが第一で、民生委員とか地域の班や町内の方々の見守り。地域とのつながりでまず大きく見守っていただくことも当然必要になってくると感じております。

鈴木(昭)委員 現実、希望される方で固定電話がないからダメとい断られる方もいらっしゃるもので、ぜひご検討いただきたい。もう一つ、この件でこれから在宅医療、療養、在宅看護が増えてきますと、例えば末期がんの人たちも緊急通報システムが欲しいという方もいらっしゃる。在宅医療で緊急通報システムで救急車使うのかと。そんなところもご検討していただきたいと思います。

上田会長 在宅医療でガンのお話が出ましたが、在宅医療の方は大体訪問看護がついています。訪問看護の方へ夜間オンコールもできるような体制で皆さんやっています。そういうのも利用しながら、この通報システムがそういう方も利用できるなら、今後考えればいいと思います。アンケート調査を見ましても、高齢者が年をとってきて一人で生活し始めると、60代では考えなかったこと、70代では考えなかったことが、80代になると考え、感じるようになるんです。そこをよく理解していただけるといいと思います。
他にご意見がございますか。

加藤委員 施策番号15の老人クラブの活性化についてお伺いします。老人クラブに加入している会員、その他の高齢者の皆さんはこれから人生100年時代と言われるので、それに向けて健康でいることがいいと思っております。自己評価が△になっております。できれば◎までいかなくても、○になりたいなと思っております。老人クラブも会員数も減少しており、合併当時で会員数が12,000人だったが今は6,756人。クラブ数120くらいあったと思うが、これも随分減ってきた。介護保険も介護職員も確保するのが大変難しくなってくる時代ですので、介護のお世話にならない人たちがたくさんこれから出るいいと思っている。そのためにも老人クラブももう少し活性化していきたい。また、老人クラブと行政が一緒にな

って、こういう現状の中で老人クラブをもう少し元気な形でやっていけるような、何か活性化計画的なものを一緒に作っていただけないか。あわせてお聞きたい。

事務局 老人クラブの活動につきましては評価が低いのではというお話もあり、大変申し訳ございません。ここ3年、コロナの関係もありまして、思うように事業が展開できていないということもございますので、この形で表記させていただきました。令和5年度につきましては、各事業の展開を全面的に戻していくことも考えながら進んでいくと聞きております。高齢者支援課としても一緒になって取り組み、魅力ある老人クラブの姿が蘇るように協力させていただきたいと思っております。クラブ数の減少等、会員の減少等につきましてはこちらの方も把握しております。また事務局さんとお話をする際には、会長さんにもご協力いただきたいと思います。

加藤委員 もう一つお願いです。総合事務所や各地域の事務所には専門職はいないと思うが、いろいろ兼ねておられると思います。そういう方々に対して、例えば福祉計画とかの説明会みたいなことをやっているかどうかお聞きたい。

事務局 全体的な計画が完成しましたら、当然ながら全庁周知ということをしていただいております。検討の段階で事務所の意見というところにつきましては、今この場で集まっている計画につきましても、事務所のメンバーはいません。周知が十分にされているかという、やり取りは常にしておりますので、把握しているつもりではあります。その辺りは胸に置きながら計画策定を進めていきたいと思っております。

鈴木(清)委員 施策番号 34、配食サービス。今、中津東地区では令和5年度4月からはじめて、今回で3回目なんです。月末に無料で弁当をつくって、事前に予約をとってそういう事業をはじめております。45名ぐらい事前に予約があり、女性を中心に14区のクラブを借りて、特に民生委員さん、健康福祉委員さんが中心になってやっています。34番を見ますと、物価高騰、利用者が減少しているので委託の業者の負担が増えてると。どういう負担が増えているのか。また単価の見直しをしたいと書いてありますけど、利用者が減れば、委託業者の負担は減ると思います。説明をお願いしたいことと、中津川市全体で何人ぐらい利用して、単価いくらでやってるか教えていただけますでしょうか。

事務局 まず人数につきましては、令和4年度末現在で207名の利用者がございます。自己負担額につきましては、1食あたり330円で、週3回まで使っていただける制度になっております。委託料につきましては、業者とのやり取りになりますけれども、エリアの中の人数とか。このサービス自体が、独居や高齢者世帯に食事を通じて配食業者が見守りをするということが主になっておりますので、普通にお弁当業者さんが玄関先に置いて終わりというのではなく、必ず手渡しをしていただき、元気で見えになることを確認していただくことまでをセットでお願いをしております。夕食等を目指して行っていたと思いますが、そこで発見できないと、またもう一回行ってもらうとか、後で連絡をしてもらうとか。それでも見つからない場合、市に連絡をしていただき、市より身寄りの方等を探して、安否確認をしたり、現地に見に行ったりというような形をとっておりますので、複数回行かなければならないコストも発生します。そういったことで苦労している面があるかと思っております。

上田会長 はい、よろしいでしょうか。いろんなご意見を頂戴いたしましたので、また参考にしていただきたいと思います。

(3) 第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の策定および策定スケジュールについて

上田会長 3番、第9期高齢者保険福祉計画・介護保険事業計画の策定スケジュールについて、事務局説明をお願いいたします。

事務局 第9期高齢者保険福祉計画、介護保険事業計画の策定及び、策定スケジュールについて説明。

上田会長 ただいまのご説明に対しまして、何かご質問ありますか。よろしいですか。

(4) 介護に関するアンケート調査結果について

上田会長 介護に関するアンケート調査結果について。説明をお願いします。

委託業者 令和4年度中津川市介護に関するアンケート調査結果について、内容を抜粋して報告。

上田会長 ありがとうございました。

事務局 時國委員から先ほど質問のありました認定申請の新規の件数の推移についてご報告をさせていただきたい。令和5年度1月から3月までの実績になりますが、令和5年度の1月が80件、2月が105件、3月が90件、合計が275件になっています。こちら、去年の同時期になりますと、令和4年1月が111件、2月が76件、3月が87件、合計274件となっております、275件と274件でほぼ横ばいという数字になっています。調査委員が感じている調査件数が増えているところについては、更新や新型コロナの関係で1年間見送った方の更新が増えているところの感想ではないかと分析しています。

5.その他

事務局 長時間にわたり上田会長には議長を務めていただきましてまことにありがとうございました。
次第3番のスケジュールでも説明いたしましたが、次回の協議会ですが、事務局にて日程を調整し11月の上旬を予定しております。日程をご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。
閉会の言葉を三浦副会長にお願いいたします。

三浦副会長 本日はお忙しい中出席をいただきまして、また、熱心にご協議いただきましてありがとうございました。
第9期の2つの計画について市長より諮問があったわけですが、本日事務局のほうから8期の事業評価と9期のスケジュールをお聞きしましたので、来年の2月の答申に向かって委員のみなさまにはまた忙しくなるかと思いますが、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。
それでは以上をもちまして、第1回の運営協議会を終了させていただきたいと思います。どうもご苦勞様でございました 〕